

## 会 議 要 旨

会議名	令和5年度第2回館山市行財政改革委員会
開催日	令和5年7月12日(水) 16:15~17:15
開催場所	館山市役所本館2階会議室
出席者	館山市行財政改革委員会委員 7名 館山市(事務局) 市長、副市長、総務部長、行革財政課(課長以下4名)
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	2名
会議概要・結果等	<p>○委嘱状交付(2名)・市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長より各委員に委嘱状を交付</li> </ul> <p>○協議事項</p> <p>(1) 第3次館山市行財政改革方針の取組結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の行財政改革の取組及び5カ年の総括について、事務局より説明。</li> </ul> <p>(2) 事業仕分けについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業仕分け実施方針及びスケジュールの確認</li> <li>・委員が判定人として参加する事業を決定</li> </ul> <p>(●:委員意見 ⇒:事務局回答)</p> <p>【協議事項(1)に対する主な委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●予算全体でみると、H30年のタイミングで考えていたより、台風、コロナ等により計画通りいかなかったところがある。ただし、台風、コロナ交付金によって、悪く言うと予算はみずぶくれしている。 第4次行革方針では、これらを反映した数値となっているが、今のままでは、R9年度に財政調整基金が枯渇する状況。何もしないわけにはいかない。</li> <li>●コロナ禍明けの自治体予算は、コロナ禍前へは戻っていない(落ちていない)。館山市は、予算を元々絞っているが、低い時代の予算と比べて現状はどうか。 ⇒決算では、歳出額でH29年度177.5億円、R3年度は228.8億円であり、R4年度も同規模程度の決算見込み。 当初予算では、H26年度予算178.6億円、R4年度224.5億円、R5年度247.7億円。R4年度・R5年度で20億円程度伸びた要因は、新館山中学校建設と清掃センターが大きい。</li> </ul>

- 桁違いに予算が伸びている状況で、館山市の深刻度は大きいと考える。  
努力していない自治体なら切りしろがあるが、行革をやってきた館山市でR9年度財政調整基金が尽きる。単年度で言うと赤字が続くということになる。防がなければいけない。そのためにあとは歳出を切るのか、どこからか財源持ってくるしかない。  
⇒予算規模自体は、該当事業が終了すれば、今後は縮小していくと考えているが、歳入確保が必要で、行革財政課へ業務が移管したふるさと納税を頑張っていくしかない。
- ふるさと納税の所管が行革財政課に替わったが、確保していくというのはどれくらいが目標か。また、その見込みはあるのか。  
⇒R4年度は3.9億円の寄附実績だった。行革方針におけるR4年度目標は4億円だが、R4年度の実績からみて5億円を目指したい。  
これはという正解はないがチャレンジしていく。積極的な営業や、WEBの強化（外部委託しサイトリニューアル）などやれることはやる。
- 企業版はどうか。  
⇒今までは企業からの申し出を受け、実際に寄附を受けてから何に使おうかという状況だった。今年度は企業に対し館山市の事業を示し、賛同いただける企業を募集、営業していく。職員全員が営業マンという意識で臨む。
- ふるさと納税の自治体間格差は、ここ3年くらいで一気に大きくなっている。トップは紋別市で年間予算とほぼ同額だったと思う。分析したところ、高い自治体が急に落ちるケースは少ない。ランキング上位が更に上に行く世界。そこへ食い込めるかだが、3億円、4億円はまだまだそのレベルではない。目標値をどこかで変える必要があるかもしれない。館山市のポテンシャルはあると思う。
- 千葉県内のふるさと納税で、お米の返礼品で2億円の寄附を集めた自治体があるが、中身は利益度外視だった。なかなか難しいが全国1位になるにはそれくらいのインパクトを町ぐるみで考えていかないといけないかなと思う。
- 絞るだけ絞っていると言われていた中で、職員はよくやっていると思う。減らす、切るも必要だが、それだけでなく、これからはどのように増やすか、どうしたら人を呼び込めるか、プラスになることを職員だけではなく市民の声を聞き、行政、市民、企業、ボランティア等含め建設的に協力して行ってほしい。
- R9年度に貯金がなくなるということは、単年度の収支も見ていくことが必要である。第4次行革方針では、数値目標は出さなくとも、R9年度以降も赤字収支を回避していくことが重要である。
- 中長期の財政状況も見ながら、単年度も注視していきたい。
- どういう執行状況かは、委員会でもっとみていかなければならないし、議会でもチェックしていくべき。
- 学校の再編は身近に感じていて、大きな動きとなっているが、学校に関わらず公共施設の見直しなどはわかりやすい部分でもあるので、しっかり進

	<p>めて欲しい。</p> <p>(●：委員意見 ⇒：事務局回答)</p> <p><b>【協議事項（２）に対する主な委員意見】</b></p> <p>●実施方針の目的について、前回の委員会の意見を踏まえて改良され、とても館山らしさが出ている。とてもよいと思う。</p> <p>●行財政改革委員会の委員は、仕分け人ではなく、市民判定人として参加するということがよいか。</p> <p>⇒よい。</p> <p>●市議会議員は、普段、市の政策を審議する立場であることに鑑み、市民判定人として参加しないとのことだが、傍聴することはできるか。</p> <p>⇒できる。</p> <p>●R 5年8月 21日の対象事業担当課ヒアリングについて、委員は可能な範囲で参加するということがよいか。</p> <p>⇒よい。</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <p>今回はR 5年8月 21日の対象事業担当課ヒアリング。時間等の詳細は、確定次第、お知らせする。</p>
--	---